

県有施設の屋根を活用した太陽光発電について

<全国的な動向>

公共施設の屋根を活用した太陽光発電事業が進められている。

■実施府県

神奈川、埼玉、栃木、新潟、岐阜、愛知、滋賀、京都、香川、福岡、佐賀、長崎、福島

■県内市町村

土佐市(福祉施設、規模112kW、事業者:市内事業者を含む8事業者が設立した株式会社)

土佐清水市(布小学校、旧三崎小学校、宗呂小学校)

県有施設での検討

<県有施設の意向調査の実施>

■対象：全施設(施設管理者)

■調査項目：

意向の有無、貸す場合の懸念、
インセンティブ、具体的な施設名称 等

<調査結果>

■「意向あり」または「検討次第」：97所属

■施設数：約340施設

■懸念材料：耐震性、雨漏り

■インセンティブ：災害時の電力供給

<県有施設の詳細調査>(実施中)

■対象：意向調査で回答のあった施設

■調査項目：施設の詳細情報(設置可能面積、構造計算書の有無、施設固有の留意事項等)

<今後の取組>

→ 固定価格買取制度のプレミア期間内(H26年度価格)での実施に向けた可能性の検討及び調整

・庁内関係課との調整(施設の詳細ヒアリング、使用料の取り扱い、施設の絞り込み等)

・募集に向けた各種条件の整理(応募資格、応募条件、審査基準等)